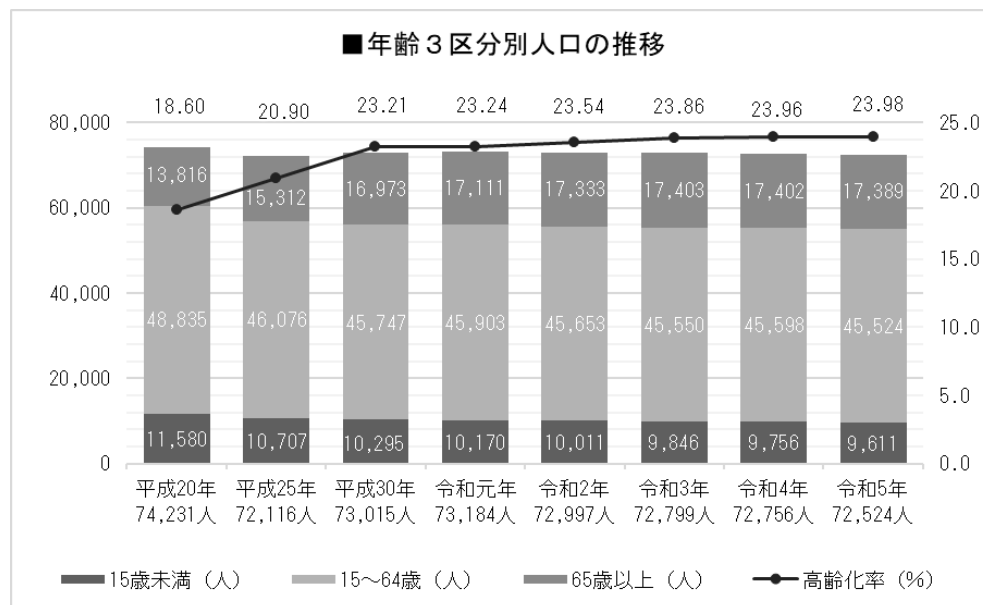


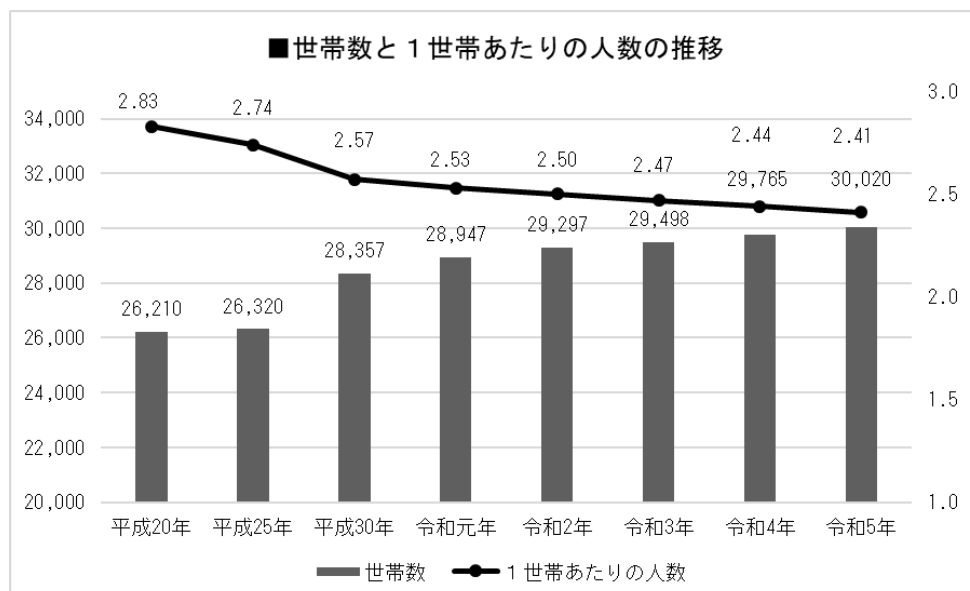
1 人口の状況



※住民記録年齢別人口集計表 各年9月30日現在（市民課）

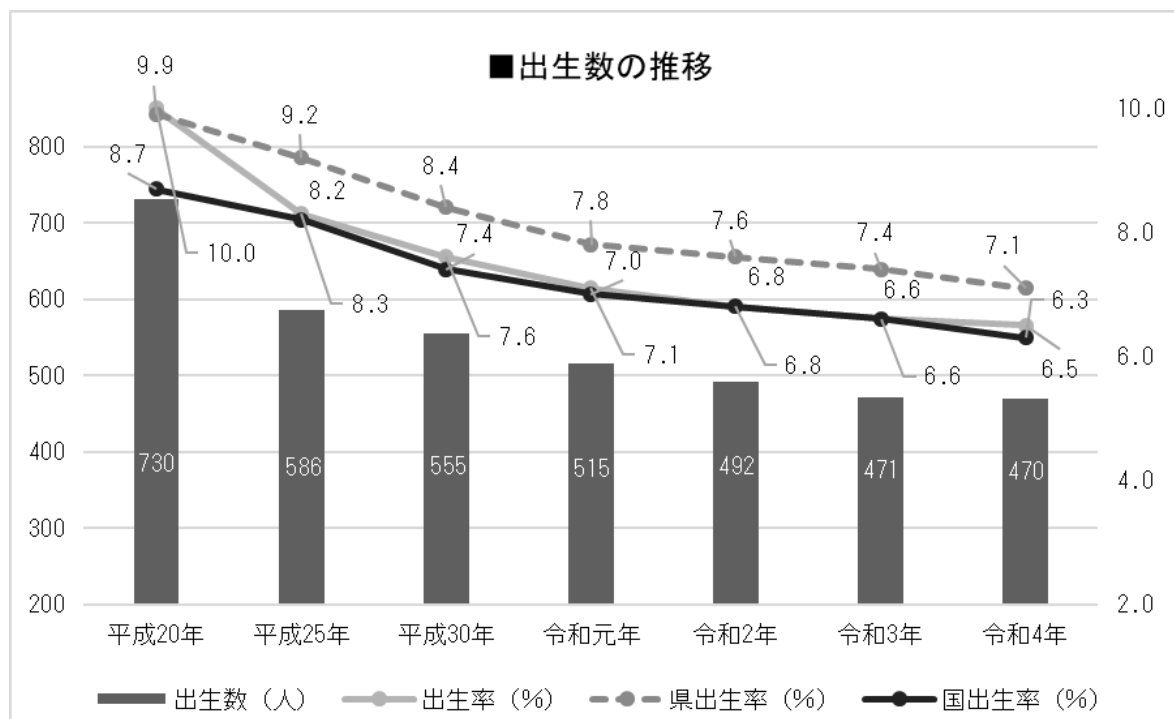
※高齢化率：碧南の統計 各年4月1日現在

2 世帯の状況



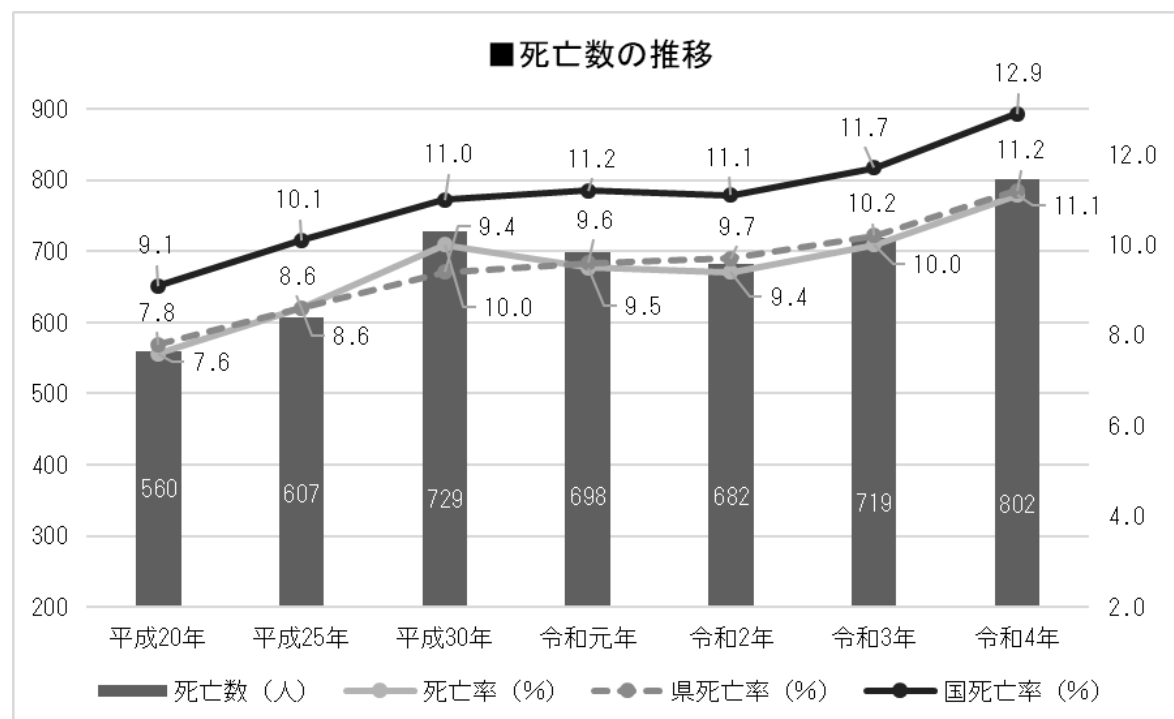
※碧南の統計 各年3月31日現在

3 出生の状況



※愛知県衛生年報

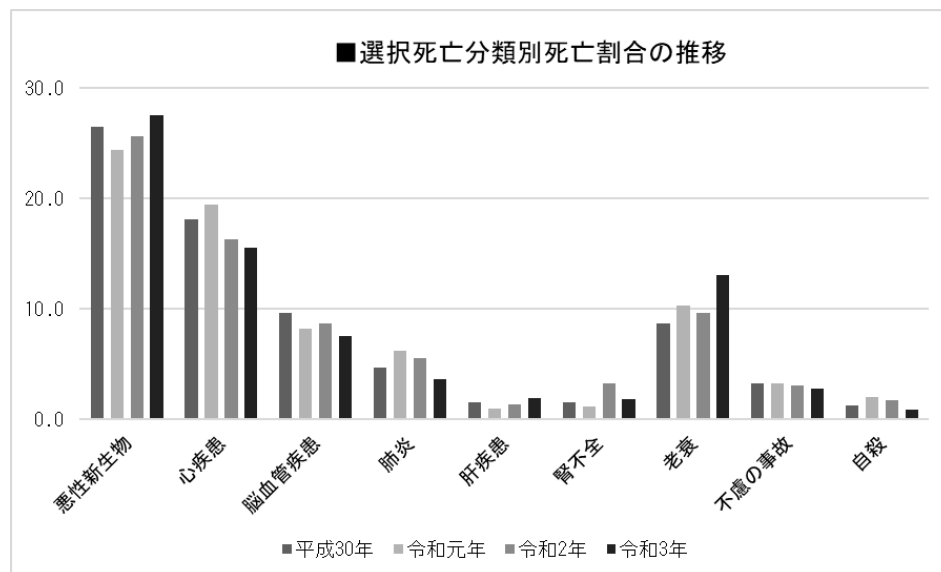
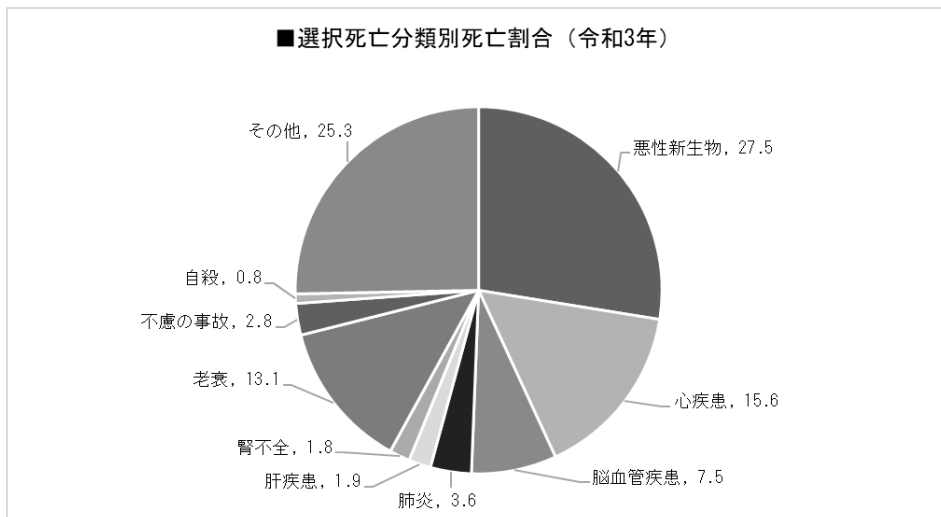
4 死亡の状況



※愛知県衛生年報

選択死亡分類別死亡数・死亡率（人口10万対） 令和3年分

選択死因分類		総数	Se01	Se02	Se14	Se15	Se16	Se21	Se25
			結核	悪性新生物 (種別)	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患 (高血圧性を除く)	脳血管疾患	大動脈瘤及び解離
愛知県	死亡数(人)	73,769	115	20,031	549	253	8,751	4,882	1,189
	死亡率(%)	1,016.00	1.6	275.9	7.6	3.5	120.5	67.2	16.4
豊南市	死亡数(人)	719	-	198	5	1	112	54	12
	死亡率(%)	1068.8	-	294.3	7.4	1.5	166.5	80.3	17.8
選択死因分類		Se26	Se27	Se28	Se29	Se30	Se31	Se32	Se34
		肺炎	慢性閉塞性 肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
愛知県	死亡数(人)	3,336	726	33	877	1,305	8,967	2,021	1,117
	死亡率(%)	45.9	10	0.5	12.1	18	123.5	27.8	15.4
豊南市	死亡数(人)	26	6	1	14	13	94	20	6
	死亡率(%)	38.6	8.9	1.5	20.8	19.3	139.7	29.7	8.9



※愛知県衛生年報

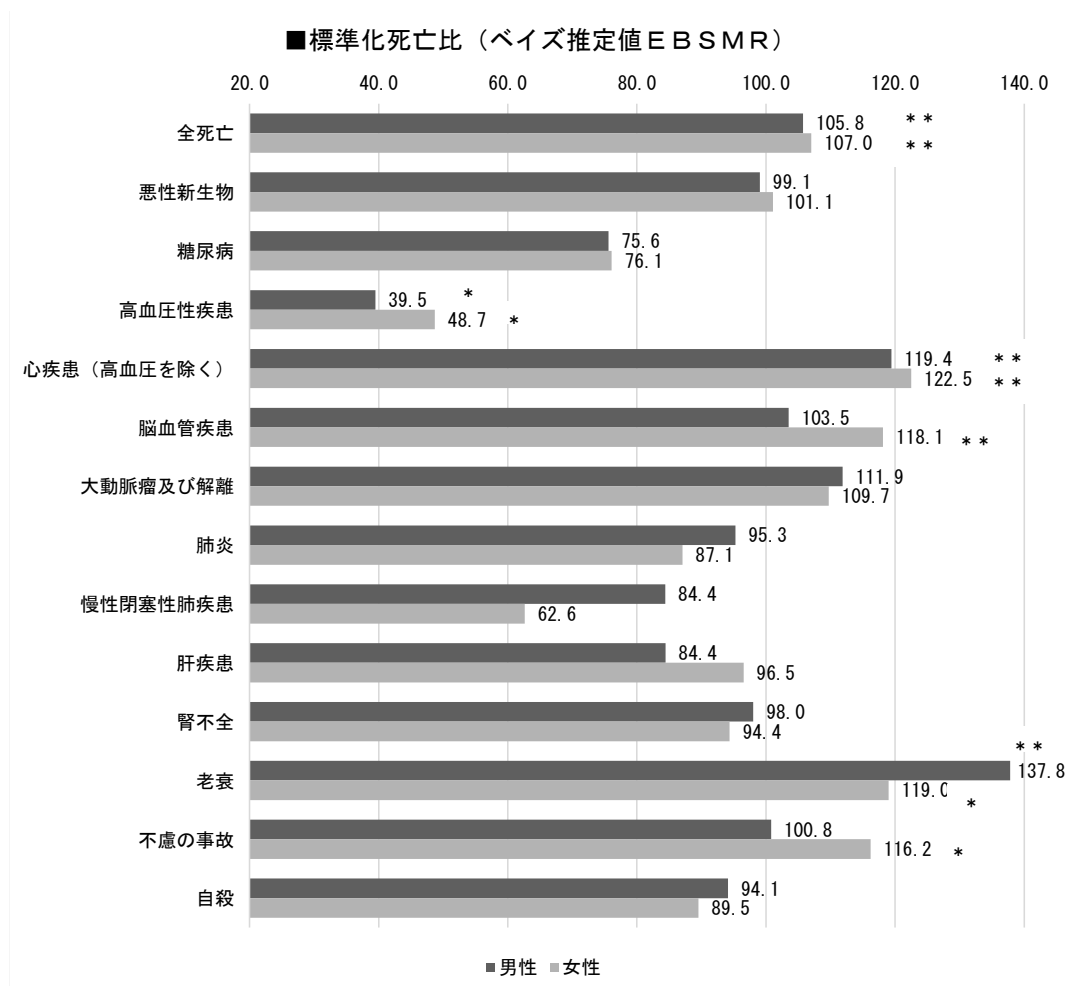
標準化死亡比（ベイズ推定値 EBSMR）

●標準化死亡比とは

性別年齢構成が市町村によって異なることを補正する目的で、「もしもそのまちの年齢階層別死亡率が国・県と同じであった場合、何人死亡すると予測されるか」という数字を計算し、実際にはその何倍死亡しているかを求めるものです。

国・県平均値を 100 としており、標準化死亡比が 100 以上の場合は国・県の平均よりも死亡率が高く、100 以下の場合は死亡率が低いと判断されています。

ベイズ推定値は地域間比較や経年比較ができるように求めた推定値です。

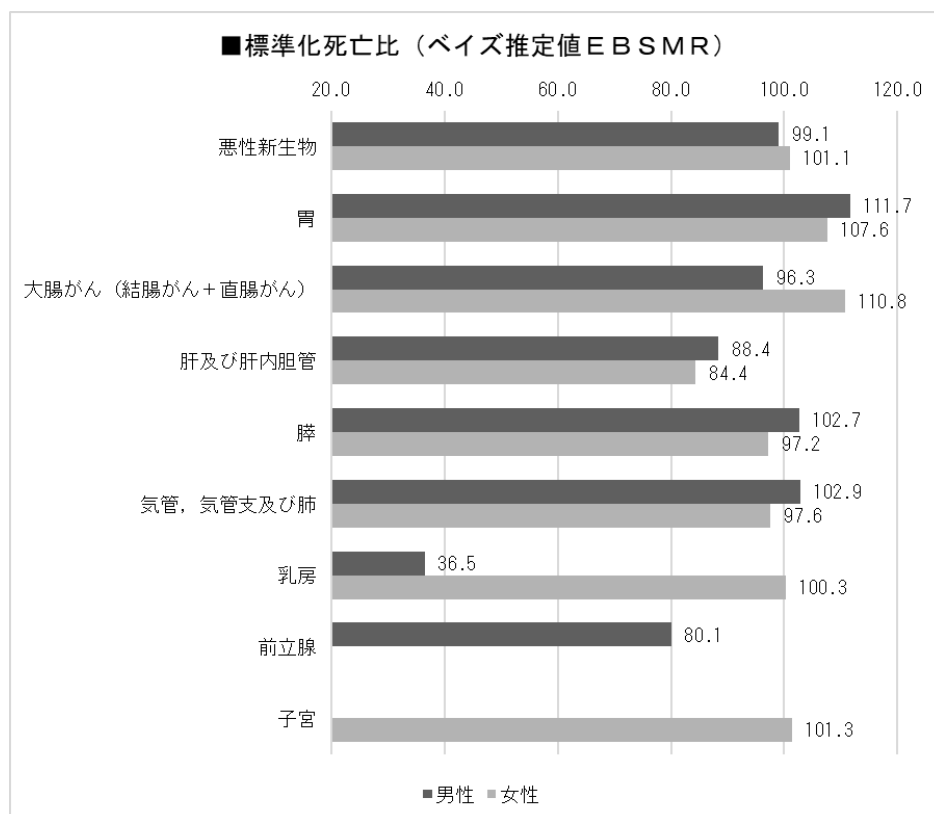


● *、**は検定結果の有意差がみられる項目です。

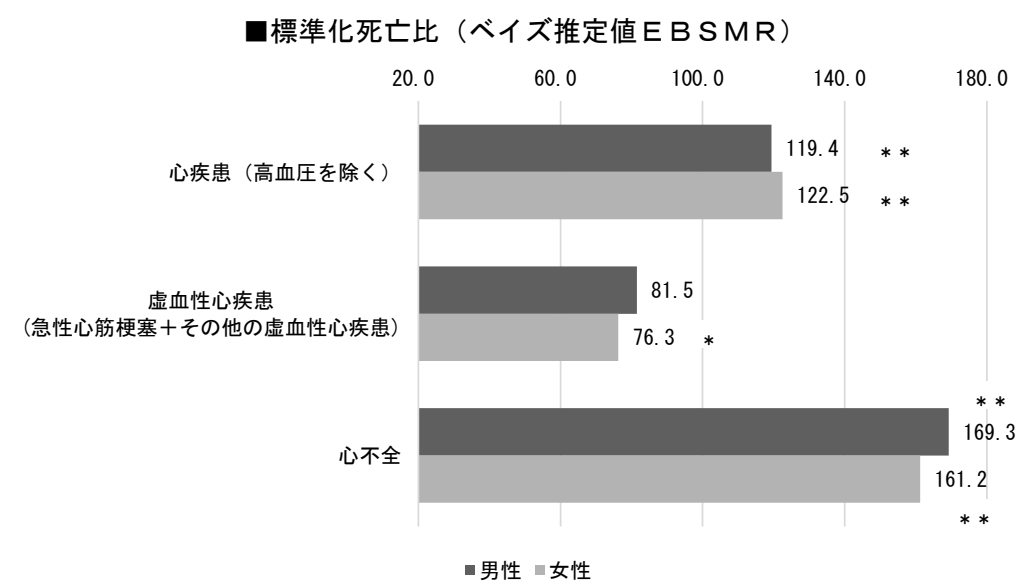
Pr<0.05 の場合は*を、Pr<0.01 の場合は**を印しています。

有意差があるとは、その結果が偶然であるとは考えにくいことをいいます。
 $Pr < 0.05$ とは、ある事柄が偶然起こる確率が 5 % 未満であるということです。
 (Pr : Probability = 確率)

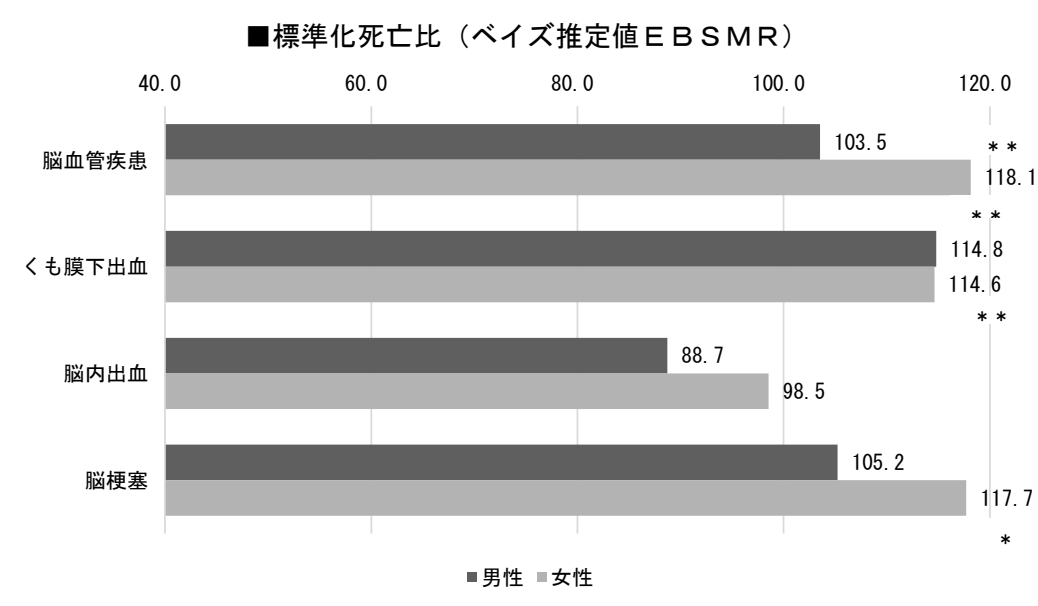
悪性新生物



心疾患



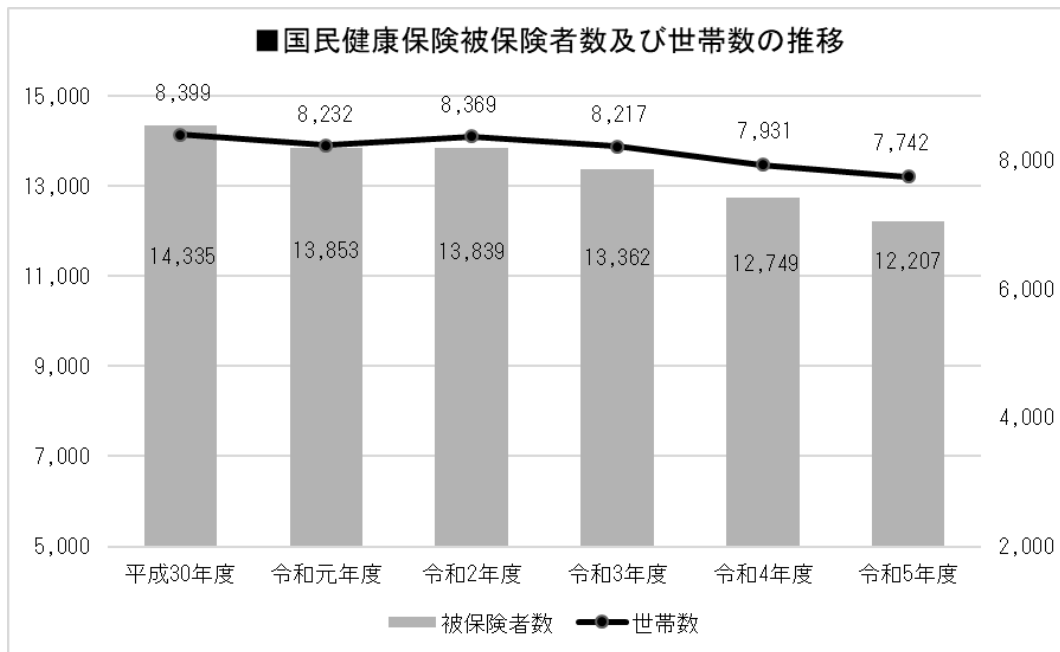
脳血管疾患



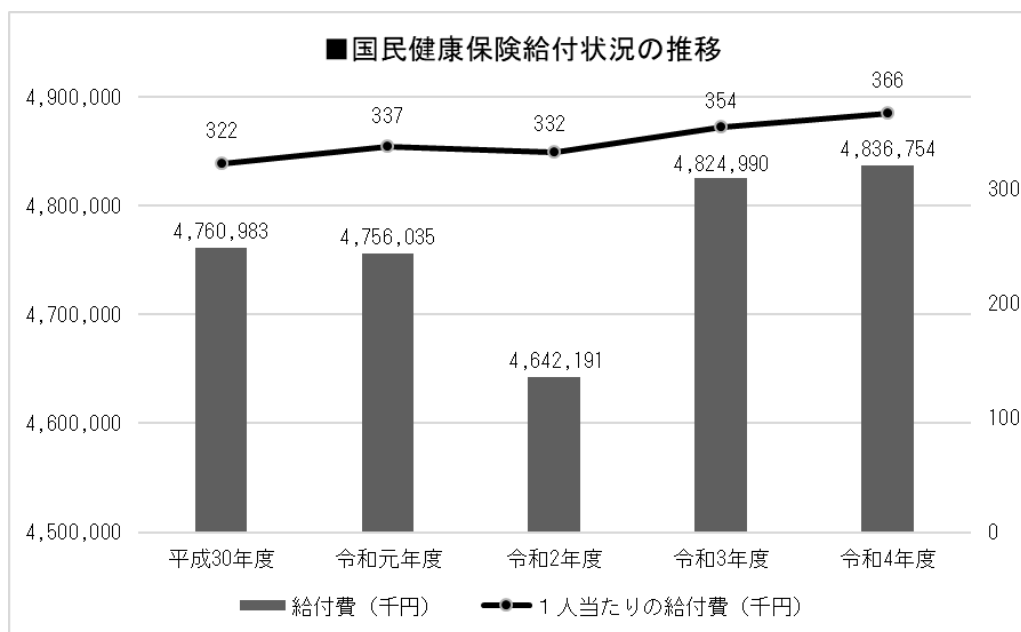
※愛知県衛生研究所

5 医療費の状況

(1) 碧南市国民健康保険

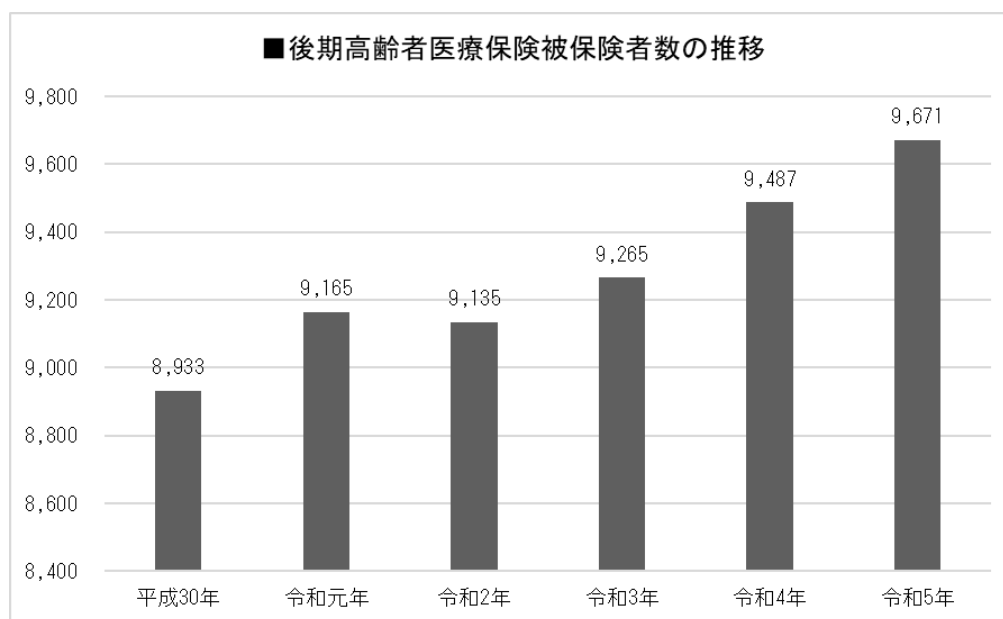


※碧南の統計 各年3月31日現在

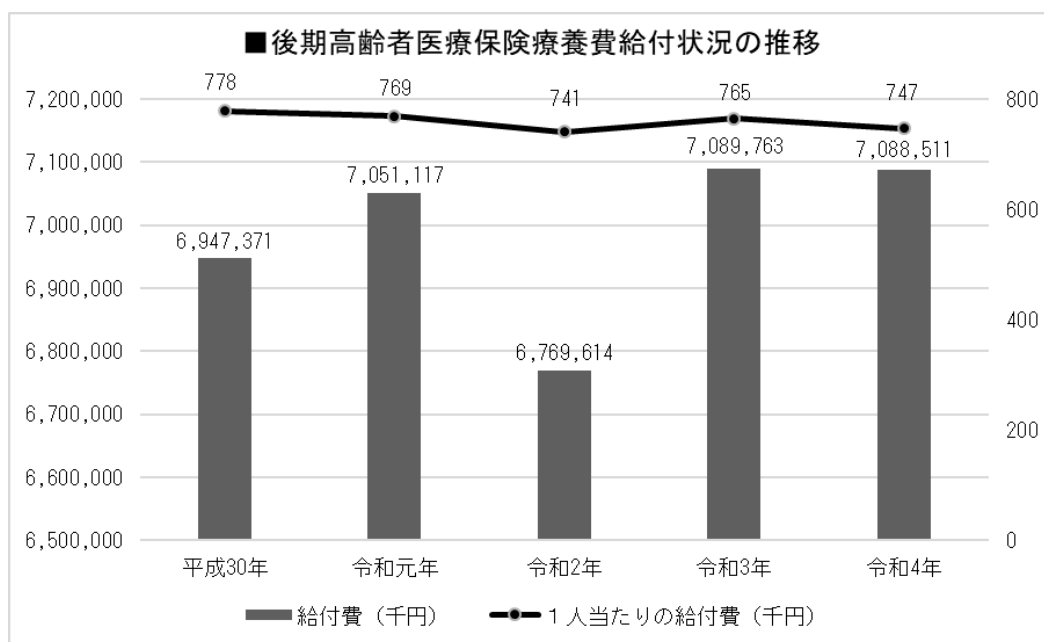


※碧南の統計

(2) 後期高齢者医療保険

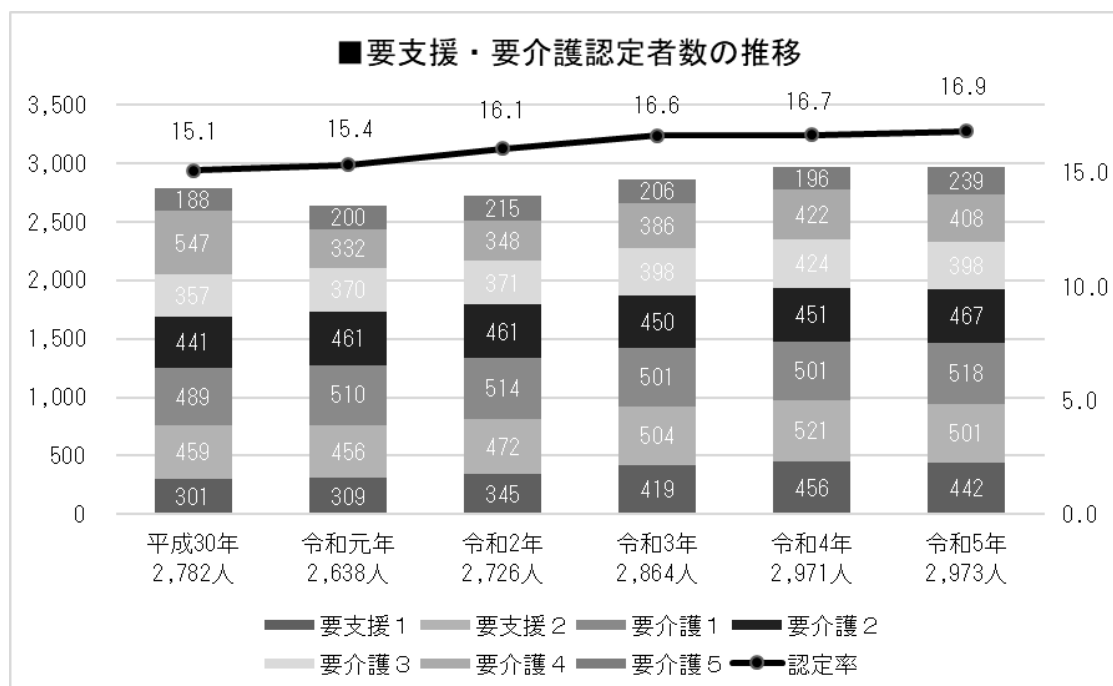


※碧南の統計 各年3月から翌年2月



※碧南の統計

6 要支援・要介護認定者の状況



※碧南の統計 各年3月31日現在

※認定率：碧南市介護保険運営協議会資料